

あなたと
議会を
つなぐ情報誌

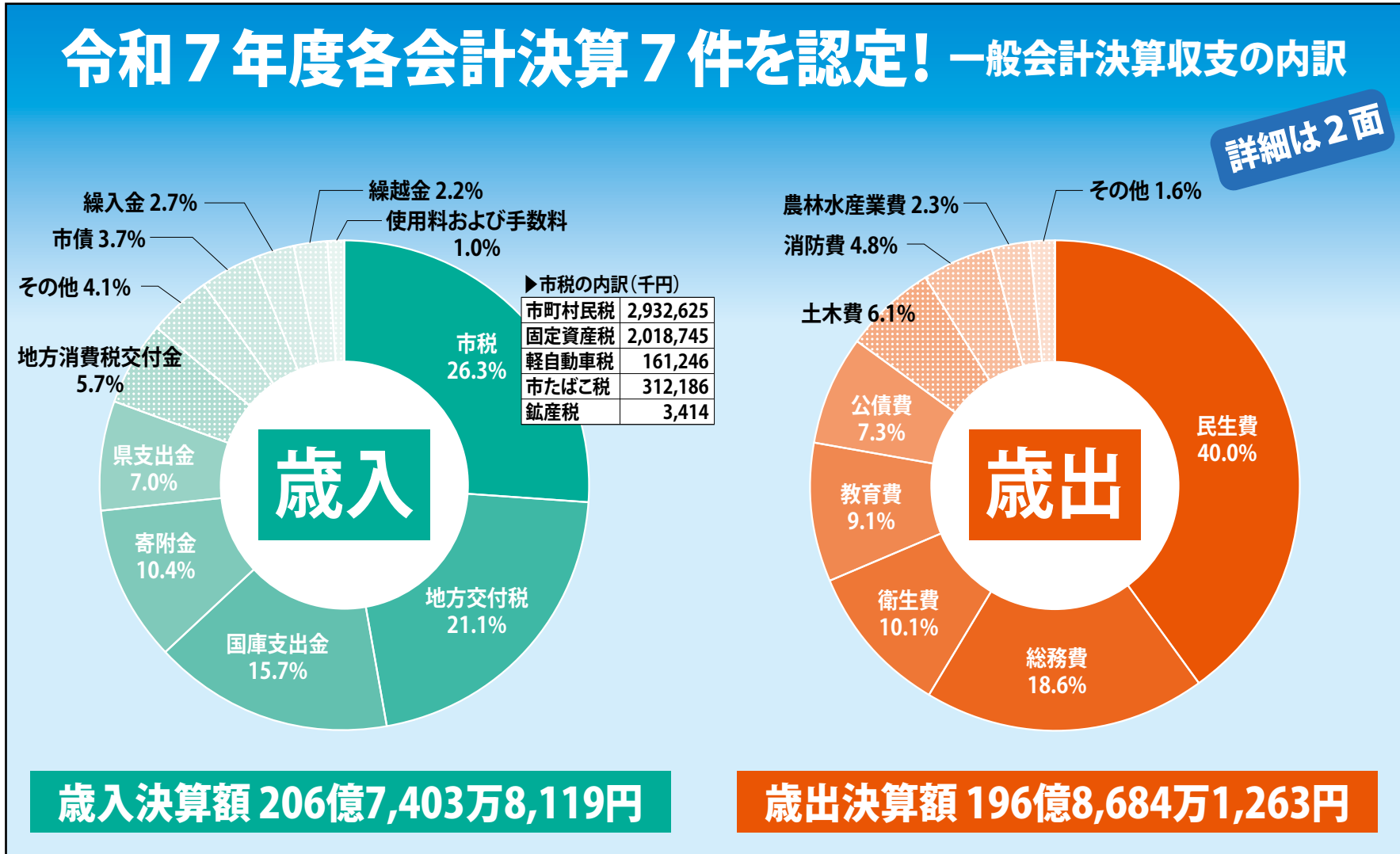


大 網 白 里

議会だより

第199号

発行 大 網 白 里 市 議 会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電話 0475 (70) 0390
発行人 大 網 白 里 市 議 会 議 長
小 倉 利 昭



可決した予算・議案の一部をPick UP!

議案
第8号

令和8年8月千葉豪雨
災害対応に係る補正予算を可決
10億6,889万円の増額

◇主な内容
●被災した住宅の応急修理について、被害の
程度に応じた修理費用を支援…8,281万円
●被災した道路や農地、公共施設等の復旧
工事…5億2,670万円
●災害廃棄物の処理費用…3億6,510万円



▲災害支援内容一覧
(市ホームページ)



議案
第10号

大網白里市
課設置条例の
一部を改正する
条例を可決

先般の豪雨災害を受け、河川
の排水体制や雨水対策をより
一層強化するため、10月1日
から新たに「治水対策課」を
設置する条例



令和8年

第3回定例会が開催されました

今定例会は、8月31日から9月25日までの26日間で開催され、市長から提出された議案10件および令和7年度各会計歳入歳出決算の認定7件、陳情2件の審査を行いました。審議の結果、原案のとおり可決・同意・認定とし、陳情1件を採択、1件を不採択としました。また、条例改正に関する委員会の発議案1件の提出があり、原案可決としました。

一般質問は3日間行われ、会派代表質問に4会派10人、個人質問に5人が登壇し、市政に対する質問を行いました。

令和8年8月千葉豪雨、台風25号により被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます

本市を襲った前例のない豪雨により、住家や車両の浸水被害や土砂流入など甚大な被害が発生しました。

いまだ不安な日々が続いておりますが、当市議会は市民の皆様の生活再建を第一に、防災・減災の取組みに全力を尽くしてまいります。

大網白里市議会一同

主 な 内 容

● 決算特別委員会レポート	2
● 【常任委員会レポート】 委員会の審議内容	3
● 【一般質問】 4会派10人、個人5人が登壇！	4～8
● 採決結果一覧など	8

令和7年度各会計決算収支の状況

◇一般会計・特別会計

(単位:千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越	実質収支
一般会計	20,674,038	19,686,841	100,242	886,955
国民健康保険特別会計	5,207,588	5,008,427	0	199,161
後期高齢者医療特別会計	863,532	857,976	0	5,556
介護保険特別会計	5,082,472	4,940,941	0	141,531

◇企業会計

(単位:千円)

会計名	区分	予算現額	決算額
ガス事業会計	ガス事業収益	801,969	782,610
	ガス事業費用	800,517	774,234
	資本的収入	93,997	58,021
	資本的支出	217,933	160,226
病院事業会計	病院事業収益	2,950,590	2,924,625
	病院事業費用	2,950,590	3,110,453
	資本的収入	77,415	187,076
	資本的支出	126,260	113,822
下水道事業会計	下水道事業収益	1,619,869	1,625,560
	下水道事業費用	1,553,798	1,513,872
	資本的収入	396,609	397,190
	資本的支出	654,580	635,189

※端数の切り上げ、切り下げを行っています。

決算特別委員会レポート
令和7年度各会計歳入歳出決算
7件を認定

決算特別委員会が9月14日から16日の3日間で開催され、令和7年度の一般会計決算などについて各担当課からの説明を聴取しながら慎重に審査を行いました。

定例会最終日には委員長から審査結果の報告があり、次のとおり指摘・要望しました。

指摘・要望

歳入面において、ふるさと応援寄附金が前年度比80.7ポイントと大幅に増加してはいるものの、年度ごとの収入額が不安定な財源である以上、寄附金に頼ることのない安定した財源確保の検討を継続すること。歳出面において、令和7年2月策

定の「持続可能な財政運営に向けた取組み」に基づき各種経費の節減に向けた取組みが行われているものの、義務的経費の支出が多く、財政の弾力性を示す経常収支比率は高水準となっている。

今後の財政運営に当たっては、引き続き既存事業の抜本的な見直しや積極的な企業誘致等による安定した自主財源の確保とともに、事業の緊急性および効果を慎重に判断した上で適正に執行されることを求める。

また、市民ニーズの把握と費用対効果を含めた各種事業の点検、検証および分析を十分に行い、令和9年度当初予算調整に当たると併せて要望する。

いじは、いじつてー！
市議会からの指摘事項

決算特別委員会に取りまとめた各課への主な指摘事項を抜粋して紹介します。

財政課

交付金等を有効活用し、自主財源確保に当たっては明確なビジョンを示し、財政の健全化に取り組まれない。

秘書広報課

費用対効果を考慮し、柔軟で迅速な広報活動の充実に努め、SNS等の活用をさらに推進されたい。

総務課および選挙管理委員会

職員の休暇取得率向上とメンタルヘルスおよびハラスメント窓口の充実を図られたい。

多様性への配慮とともに担当部署に業務が集中することのないよう職員配置に努められたい。
期日前投票所の増設等も含めた、投票率の向上に努められたい。

企画政策課

自主財源確保のため、企業誘致やふるさと納税について、より一層積極的に取り組まれたい。
公共交通における利用者のニーズを考慮し、適切な施策を検討されたい。

安全対策課

早期に、より精度の高いハザードマップを整備されたい。
駐輪場の管理・運営について合理的な手法を研究し、見直し等を検討されたい。

税務課

引き続き、市税の収納率向上と滞納額削減、また、納税者が相談しやすい環境の整備に努められたい。

市民課

マイナンバーカードの利点周知および各種証明書コンビニ交付事業の利用率向上を促進されたい。

地域づくり課

ごみの減量化、資源再利用等の効果的手法の研究、区・自治会への加入促進に努められたい。

社会福祉課

生活困窮者等の就労支援や障がい者に対する生活支援および自立支援について充実を図られたい。

子育て支援課

民間保育所との連携を高め、保育事業の充実を図られたい。

高齢者支援課

元気のある高齢者が支える側になる仕組みを検討されたい。
扶助費の効果検証と研究に努められたい。

健康増進課

各種健（検）診事業の受診率の向上、事後指導の検証とSNS等での情報発信に努められたい。
産後ケアの充実に努められたい。

農業振興課および農業委員会

引き続き農家への支援を行い、新規就農者の増加等を通じた強い農業づくりを目指し鋭意努力されたい。
排水機場の適正管理に努められたい。

商工観光課

広域連携を視野に、ホームページおよびSNS等を活用した情報発信、観光プロモーション推進事業の現状把握と効果の分析に努められたい。

関係団体と連携を密にし、産業、商工観光の推進に取り組まれたい。

建設課

災害を見据えた道路および河川の早急な整備、生活道路の利便性向上と通学路の安全対策にそれぞれ努められたい。
豪雨時の排水対策に十分に取り組まれたい。

都市整備課

大網駅沿道を含めたまちづくりや住宅耐震改修促進事業に積極的に取り組まれたい。
小中池公園の着実な整備に取り組まれたい。

下水道課

下水道事業の経営健全化と施設の

長寿命化も考慮した維持管理に努められたい。

汚泥の活用について検討されたい。

国保大網病院

地域医療連携体制のさらなる強化と経営の健全化に努められたい。

ガス事業課

ガス利用のPR促進に努め、経営の健全化に取り組まれたい。

教育委員会管理課

教育環境における情報通信技術の積極的な活用と学習環境整備に努められたい。

教育委員会生涯学習課

市の文化財の情報発信および保護に努められたい。
計画的な施設管理と利用環境の向上に努められたい。

委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長
輪島	金	森	藤	猪	田
美津江	浩	完	正	弘	隆
育二	人	俊	須	須	須

市議会を傍聴しませんか

本会議および委員会は原則公開されており、無料でどなたでも傍聴することができます。
議場の傍聴席は先着順で30席です。
本会議は随時、委員会は開始時刻の30分前から10分前まで傍聴受付を行います。

●傍聴のしかた

- 傍聴受付で氏名・住所を記入。
- 傍聴券を受け取り、傍聴席へ。
- お帰りの際は、受付へ傍聴券を返却。

●注意点

- 静かに傍聴してください。
- 議場内や会議室内では、スマートフォン等の電源を切るか、音の出ない状態にしてください。
- 撮影、録音等は原則禁止されています。
- 傍聴席はインターネット中継の撮影範囲となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

●インターネット配信

本会議の映像は、インターネット(Youtube)での中継と録画配信でもご覧いただけます。

大網白里市議会中継

検索

常任委員会審査レポート～各委員会に付託された議案・請願・陳情～

総務常任委員会

総務常任委員会を9月10日に開催し、付託された議案3件と陳情1件の審査を行いました。議案3件はいずれも原案可決とし、陳情1件は賛成総員により採択としました。

●議案第1号 令和8年度大網白里市一般会計補正予算（第2号）

結果…原案可決
概要 農業資材等の高騰に対する支援事業、南玉地区の幹線排水路整備事業に係る補正予算（約1億535万円の増額）

Qこんな質疑がありました

問 今回なぜ農業者に手厚い支援をしようと思ったのか。

答 地方創生臨時交付金を活用した支援について、農業者支援を2回ほど見送ってきたという経緯もあり、ヒアリングしたところ農業資材、肥料等が値上っていると伺った。

問 整備計画を、今回の千葉豪雨災害を受けての形に見直しはいいか。

答 委員会では、「さらに改善できるのか検討が必要」という意見があったということを担当課等に伝える。

●議案第3号 大網白里市ガス事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

結果…原案可決

概要 地方自治法の一部改正に伴い、4つの条例で引用する条項の改正を行うもの

質疑はありませんでした

●議案第10号 大網白里市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

結果…原案可決

概要 河川の排水体制や雨水対策をはじめとする治水対策

全般を強化するため、新たに治水対策課を設置するための改正を行うもの

Qこんな質疑がありました

問 課長のポジションは国から招へいし、予算の確保にもつなげる考えがあつてしかるべきではないか。

答 具体的に案として上がっていないが、このような意見があつたという話をさせていただく。

●陳情第6号 市長を対象にした政治倫理条例を制定してもらうための陳情
結果…採択

こんな意見がありました

●議員の政治倫理について条例化という方向で進めていく目途がついたと思うので、この陳情について賛同したいと考える。

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会を9月11日に開催し、付託された議案3件の審査の結果、いずれも原案可決としました。

●議案第2号 令和8年度大網白里市介護保険特別会計補正予算（第1号）

結果…原案可決

概要 令和7年度決算額の確定に伴う給付費等の清算（約1億4,848万円の増額）

Qこんな質疑がありました

問 全般として概況はどうだったのか。

答 介護給付費は伸びている。それに合わせて、地域支援事業の中の総合事業も伸びている。

●議案第4号 大網白里市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

結果…原案可決

概要 コンビニ交付サービスにおける印鑑登録証明書の申請手続きについて、マイナンバーカードおよびスマホ用電子証明書が搭載されたスマートフォンに加え、特定在留カードおよび特定特別永住者証明書を使用できるように改正するもの

Qこんな質疑がありました

問 遡及適用されるといふことは、現在もう始まっているということか。

答 制度としてはすでに始まっている。ただし本市における申請は今のところまだない状況。議案第6号 財産の取得について

結果…原案可決

概要 国が進めるGIGAスクール構想に基づき整備した学習用機器について、経年劣化に伴い機器本体の取得を行うもの（タブレット端末3,237台ほか）
契約金額 1億7,625万4,650円
相手方 富士電機ITソリューション(株)

Qこんな質疑がありました

問 これまで使っていた古い端末はどのようになるのか。

答 機器の買取について確認したところ、古い機種のため、買取価格はつかないというところであり、リサイクル業者に依頼をして処分する対応をとりたいと考えている。

問 耐用年数は大体どのくらいを見込んでいるか。

答 5年間を見込んでおり、端末の劣化などを見ながら、

判断したいと考えている。

委員長 上代 利
副委員長 齊藤 育
委員 森 建二
委員 佐久間 久良
委員 宮間 文夫
委員 岡田 憲二

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会を9月11日に開催し、付託された議案1件と陳情1件の審査を行いました。

議案1件は原案可決とし、陳情1件は賛成少数により不採択としました。

●議案第5号 大網白里市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

結果…原案可決

概要 地方自治法施行規則の一部改正に伴い、条例で引用する条項の改正を行うもの

質疑はありませんでした

●陳情第7号 「九十九里沖CCS事業の中止撤回を国に求める意見書」採択に関する陳情
結果…不採択

こんな意見がありました

●重油の流出事故があり、海の生態系にも大きな影響を及ぼしてくと考える。

●現在、貯留地点の試掘と埋設するパイプラインを検証している最中なので、中止撤回の採択には至らないと考える。

委員長 高野 祐二
副委員長 田辺 正弘
委員 土屋 忠和
委員 引間 真理子
委員 石渡 登志男

ようこそ大網白里市議会へ

10月8日、長野県小県郡長和町議会社会文教常任委員会の方々が行政視察のため来庁されました。森副議長の歓迎あいさつののち、視察テーマ「財政健全化の取り組みについて」、「国保大網病院の経営の現状と今後について」を財政課および大網病院担当者からの説明と現地視察が行われました。



▲質疑応答の様子

令和8年市議会第4回定例会会期日程(案)

開催日	開始時刻	内容
11/13(金)	10:00	第4回定例会 開会 ・行政事務報告、議案上程ほか
11/18(水)	10:00	一般質問
11/19(木)	10:00	一般質問
11/20(金)	10:00	一般質問
11/26(木)	10:00 13:00	議案質疑・委員会付託 政治倫理検討会議 総務常任委員会
11/27(金)	10:00 13:30	文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会
12/3(木)	10:00	第4回定例会 閉会 ・委員会審査報告、採決ほか

※上記はあくまでも予定であり、変更となることもあります。

代表質問
安心・安全なまちづくりと市政運営

自民

金森 浩二 議員



問 今回の豪雨では、市内各所で浸水や道路冠水、河川・水路周辺の被害が発生しました。大網駅周辺では、令和元年、令和5年に続き今回も浸水被害が発生しています。災害発生後の対応だけでなく、被害を発生させない、あるいは最小限に抑える治水対策が重要で、これらを踏まえ、今後、本市の治水対策をどのように進めていくのか伺います。

答 千葉市に確認したところ、復旧のめどは立っていないとのことですが、市も生活に欠かせない主要な道路で、市民に大変な不便をかけていると認識しており、引き続き情報収集に努め、市ホームページやSNSで情報発信を行ってまいります。

市長 大網駅周辺の排水対策は、県が進める小中川改修事業、市が進める金谷川改修事業に加え、新たに南玉地区幹線排水路の整備が必要との方針が県から示されています。市でも同排水路の改修や調整池の設置を検討しています。浸水被害対策を最重要課題と認識し、事業をスピード感を持って推進するため、新たな課を設置し、治水対策に重点的に取り組む準備を進めています。

問 河川や水路の改修、排水能力の向上、調整池の整備には、国・県との連携強化が重要で、市長として、国・県にどう働きかけ、治水事業の実現につなげるのか伺います。

答 山田台大網白里線バイパスの混雑は認識しています。新路線の建設や既存道路の拡幅には、千葉市との計画調整や用地取得など多くの課題があり、現時点で具体的な整備計画はありません。新たな道路整備計画には、国、県、千葉市を含めた関係機関が一体となった検討が必要で、広域的な連携の中で中長期の視点で研究してまいります。

市長 8月18日の知事現地視察で、被害状況を説明し、金谷川改修事業、南玉地区幹線排水路および調整池の整備への支援を要望しました。知事からは、県と市が歩調を合わせ、整備を加速する必要があるとの話がありました。8月27日には国土交通大臣にも支援を要望し、引き続き早期の復旧・復興に向け連携して取り組んでいきます。

問 今回の豪雨により県道20号線、通称「大網街道」では道路の崩落や土砂崩れが発生し、通行止めとなりました。通勤・通学、物流などに欠かせない道路です。復旧の見通しに

ついて、市が把握している状況を伺います。

答 千葉市に確認したところ、復旧のめどは立っていないとのことですが、市も生活に欠かせない主要な道路で、市民に大変な不便をかけていると認識しており、引き続き情報収集に努め、市ホームページやSNSで情報発信を行ってまいります。

問 大網街道の通行止めにより、代替ルートの山田台大網白里線バイパスでは混雑が発生しています。長期的な通行規制や今後同様の災害に備え、平時から代替ルートを設定し、必要な対策を講じることが必要です。市として代替ルートの確保、活用を検討する考えがあるのか伺います。

関連質問

斉藤 完育 議員



問 令和元年の台風・大雨災害の教訓を、その後の対応にどう活かしたのか。また、今回新たに見えた課題は。

答 令和元年は稲わらの流出・堆積が排水機能を阻害したため、稲刈り後の速やかなすす込みを周知してきました。今回は長時間冠水による水稻や野菜への影響が懸念され、早期解消を図る排水体制の整備が課題です。

問 被災農業者の営農継続の意向や、再建に必要な支援を、どう把握し繋げますか。

答 農地パトロールや聞き取り、県・JＡと連携した現地調査で被害状況を把握し、国・県の支援事業を活用するとともに必要な情報提供を行います。

問 安心して営農を続けられる環境づくりについて市長のお考えは。

市長 農業は本市の基幹産業です。県や関係機関と連携し、国への支援措置を働きかけるなど、きめ細やかな支援により安心して農業を続けられる環境づくりに努めます。8月27日には熊谷知事と内閣府に赴き、激甚災害指定を要請しました。

激甚災害に指定されることがゴールではありません。支援が農業者一人一人に届き、その先も営農を続けられて初めて本当の再建です。農業者の皆様にも、市民の皆様にも「この街は自分たちをちゃんと見ていてくれる」と思っていただけの大網白里市にしなければなりません。議会と執行部がそれぞれの役割を果たし、市民の声を聞きながら改善を重ね、私自身も災害直後だけでなく、生活や営農が再建されるまで現場の声を聞き続けてまいります。

関連質問

土屋 忠和 議員



長国、九十根地区の千葉豪雨被害について、市・担当課の意見を聞く。

問 今回の浸水被害は河川からの外水氾濫によるものなのか、それとも排水能力を超えた内水氾濫によるものなのか、市はどのように認識しているのか。お聞かせください。

答 河川状況につきまして管理者である千葉市に確認したところ、2級河川南白亀川および、小中川よりの越水は確認されていないことです。市としては、線状降水帯での豪雨による内水氾濫が発生し、地区全体が冠水したものと考えております。

課長が右の答弁で示されたように、内水氾濫が明確化し、長国・九十根地区の水害への重要性の本質を捉え、市も理解したと承知をいたしました。

問 凄まじい豪雨によって進入路が冠水すると、排水機場へ進入することができず、施設の操作、肝心なポンプの稼働にも支障をきたす事態となります。福岡排水機場までの進入路について、冠水時に安全に進入できるよう、どのような整備や対策をお考えか、伺います。

答 千葉県や地元関係団体と今回の事態を検証するとともに、適時適切な操作が行えるよう、今後の対策について千葉県へ要望してまいります。

問 福岡排水機場の遊水池が今回の豪雨を受け土砂が堆積している状況を確認しました。今後、定期的に清掃等を行う予定はあるのか、伺います。

答 遊水池の土砂が堆積していることにより排水機場貯留能力の低下が懸念されることから、堆積土砂を撤去するなど適正な機能が図れるよう維持管理に努めてまいります。

◎治水効果の見直しとして大容量の排水設備の整備を要望いたします。

個人質問

災害関連死を生まないために避難所に必要なのはTKB48。実現を！
日本共産党

佐久間 久良 議員



問 レベル4、レベル5が発令されている下、避難に際し、食料や飲料水、毛布など身の回りのものを持参の上、避難と告知。命の危険があり、直ちに避難しなければならぬ状況の下で、不適切ではないか。

答 市で、全ての物資をそろえることは不可能。日頃から市民に食料、飲料水の備蓄を呼びかけるとともに、避難の際には、持参するようお願いしている。最も重要なのは人命。状況により避難時に持ち出せない場合もあり、避難者から求められ場合は、市で備蓄している物資の提供を速やかに行っていきます。

問 指定避難所に備蓄品などは備えているのか。緊急避難所はどうするのか、また、福祉避難所を増やしていく考えはあるのか。

答 指定避難所16か所には、全て備蓄倉庫を備えている。倉庫内には水、食料、毛布、ロールマット、ベッド、簡易トイレ、パーティション、発電機等を備蓄しており、必要に応じて、各避難所の状況に応じた備蓄品を保管するよう努めている。

次に、6つの施設等を福祉避難所としており、このほか、特別な配慮を必要とされる方々の避難所として、民間の高齢者施設など24施設と福祉避難所の協定を締結。現状では充足していると考えが、必要に応じて、関係施設との協定など福祉避難所の確保に努めていきたい。

避難所に必要なのは、TKB48。Tはトイレ、Kはキッチン、Bはベッドを48時間以内に整備することだ。避難者は、災害の後だから、わがままは言わずに我慢しなくてはという意識を多くの方が持つ。その我慢が災害関連死の要因にもなる。精

神的・肉体的に大きなダメージを受けて避難してくる被災者、命を守るためにも、避難所は我慢するところではあってはならない。

問 県は、基本方針として、備蓄等に係る考えを示している。この考えに基づいているのか。その量についてもお答え頂きたい。

答 千葉県地震被害想定調査を基に、避難者の3割が食料、飲料水を持参するものと見込んだ上で、3日分の食料、飲料水を確保できるように努めています。災害備蓄品は、食料が4万3,962食（111.9%）。飲料水が3万1,280ℓ（79.7%）。組立て式トイレが106基（103.6%）。毛布が3,232枚（103.6%）。このほか、紙おむつや生理用品は備蓄目標の数量以上に補充しております。

問 もともと不平等があるのに、災害でジェンダー格差が広がり、高齢者、障がい者、子どもなど要配慮者と女性に、より多くの被害をもたらされる。災害時に弱者を生まないためにも、女性や民生委員、地域包括ケアの関係者などが避難計画等を作成する段階はもちろん、避難所運営や意思決定に参画することが重要だと考える。

答 避難所運営マニュアルで、避難所運営は、避難者の中から区、自治会、自主防災組織の関係者を構成員とする避難所運営委員会を設置し、女性や要配慮者への支援や対策を図るとされており、また、構成員として女性の協力をいただき、女性などの視点に立った運営を図る。今後は、防災政策の改定に当り、災害弱者の意見を積極的に反映できる体制づくりに努めていきます。

代表質問

公明党

輪島 美津江 議員



誰もが輝く地域共生社会を目指して

問 ごみ収集現場でルール違反の家
庭ごみが発見された場合、市はどの
ような対応をされていますか。

答 ごみ集積場に分別方法や収集日な
どの搬出ルールに違反したごみが出さ
れた場合には、搬出者にルール違反で
あることを認識していただき、適正な
分別や出し直しを促すため、収集委託
業者が違反シールを貼付し、その場で
は収集しない取扱いとしています。そ
の後、搬出者による持ち帰りや適正な
搬出が行われず、違反ごみ集積場に残
されたままとなっている場合には、集
積場周辺の生活環境や衛生面への影響
などを考慮し、違反シールの貼付から
おおむね1週間を目安に回収しており
ます。

問 民生委員の今後の担い手確保に
向けた取組みについて

答 今後の担い手確保に向けた取組み
といたしましては、引き続き現役の民
生委員や民生委員経験者の人的ネット
ワークを活用して、適切な人材選出に
努めるとともに、区や自治会からの既
存の推薦ルートを生かしつつ、社会福
祉協議会や公務員関係、教育・保育職
従事者、地元事業者など複数の推薦
ルートを確保することも必要であると
考えております。また現状では若い世
代や就労世代との接点が限られている
ことから、若者や子ども向けの広報活
動を推進し、民生委員活動への理解を
深めていただく取組みを進めることも
将来の担い手を確保する上では重要で
あると考えております。あわせて、地
域行事や学校との連携などを通じて、
若い世代との接点を創出することなど
も必要と認識しております。

問 災害関連死を防ぐための避難
所・避難生活対策、大規模災害時
における断水対策と防災用水の確

保について

答 市内26か所の防災井戸の設備点
検につきましては、1年に一度、職
員において確認を行っており、必要
に応じて修繕を実施しています。ま
た水質検査はおおむね5年に一度実
施しております。なお、水質検査の
検査項目は、一般細菌検査、大腸菌
検査、pH値などで、直近では令和
3年3月に実施したところです。発
災時の使用体制ですが、現在26か所
とも故障等は発生しておらず、全て
において使用が可能なものと認識し
ております。災害時に防災井戸のみ
で全ての生活用水需要を賄うことは
困難であるとの認識の下、市役所駐
車場ほか5か所の指定応急給水場所
からの補完的な供給や雨水等の代替
水源も活用し、地域住民や自主防災
組織と連携しながら、より実効性の
高い生活用水の確保に努めてまいり
ます。車中泊やテントで生活する
方、在宅避難者についても世帯ごと
に名簿を作成して状況を把握すると
ともに、食料や物資同様飲料水に
ついては支援の対象から漏らさない
体制としております。



関連質問

引間 真理子 議員



問 オンライン授業配信エデュオプ
ちばのサポート内容と状況について

答 県教育委員会がインターネット
配信するエデュオプちばは、小・中
学校各学年の主要教科である国語、
数学、社会、理科、英語について長
期休業中を除く平日にオンラインに
よる双方向型で顔や声を出さずに参
加できる授業を実施しております。
周知につきましては、学校から保護
者へ、直接周知を図っております。

問 生命(いのち)の安全教育につ
いて、近年増加する性犯罪被害の現
状、子ども性犯罪の加害・被害者
にさせないため、性犯罪・性暴力防
止のための教育の実施について

答 生命(いのち)の安全教育の取
組みにつきましては、子どもたちが
性暴力の加害者、被害者、傍観者に
ならないよう毎年5月を強化月間と
位置づけ、各学校の実態に応じた指
導計画にその内容を盛り込むととも
に、千葉県の指導の手引きに示され
た題材を、積極的に取り組むよう指
導しております。また道徳や保健学
習の授業等を中心に、他人との適切
な距離感を確保する必要性や、プラ
イベートゾーンについて、具体的に
触れることで児童・生徒の性に対す
る理解を深め、性被害予防の学習に
も取り組んでおります。

問 SNSのトラブル未然防止のた
めの指導について

答 全校集会等で、専門的な知識を
備えた外部人材を活用し、SNSによ
るトラブルの未然防止等に関する講話
を取り入れるなどしてトラブルの未然
防止に努めております。

※その他、不登校の児童・生徒数の
状況と相談体制について、学校内外
の機関等の関わり、適応指導教室の
目的と活動内容を伺いました。

関連質問

上代 和利 議員



問 持続可能な財政運営にむけた取
組みの達成状況と今後の見通しにつ
いて

答 歳入面は税収の確保をはじめ8項
目、歳出面では人件費の抑制など5項
目に取り組み、財政目標のうち、財政
調整基金残高は、令和8年6月補正予
算後に20億円に達するなど一定の成果
を得ています。今後の見通しにつきま
しては、新ごみ処理施設の建設や上水
道・消防施設の更新等の組合負担金の
増加など、財政需要の更なる増大が見
込まれるため、引き続き経常収支比率
の改善に取り組んでいきます。

問 人口減少に伴い税収減が見込ま
れる中、持続可能な行政サービスを
維持するための財政運営ビジョンに
ついて

答 人口減少が進む中、安定的な税
収確保は喫緊の課題であり、企業誘
致・人口減少対策を推進し、将来の
法人税や市民税の増収を図るため、
本年度は、産業用地検討調査や移住
支援事業補助金など、新たな事業に
取り組んでいます。

問 過去に策定された補助金やイベ
ント事業について費用対効果を検証
し反映されているか。

答 市単独の団体補助金の削減や助
成事業の縮減・廃止、イベントの隔
年実施化を図ってきたが、引き続き
事業の成果を可視化できるよう数値
化し、客観的指標により、費用対効
果が認められないと判断できるもの
や、サービスの受益者が一部に限ら
れている物については、事業の廃
止・休止を含めた見直しを図ってい
くことにしています。

他に国県支出金の獲得強化について、
財政調整基金の積み立てと将来の備え
について、歳入の具体的な取組みにつ
いてを質問させて頂きました。

個人質問

排水対策が最優先。排水対策なしに
大網駅前開発はありえない。

黒須 俊隆 議員



問 大網白里市は内水浸水想定区域
図をホームページで公開している。
1時間153ミリ、1日388ミリの
想定で、千年に1回の降雨と書い
てある。今回はこれをオーバーし
た。千年に一度の豪雨が3年、4年
おきに来る状況を市はどのように考
えているか。

答 予想というのはなかなか難し
く、そのときの状況で、最大雨量を
考えて計画しています。その都度、
適切な対応を取っていければと考え
ています。

問 現在の河川改修が終われば水害
を防ぐことができるのか。

答 小中川および金谷川の改修整備
については、ともに南白亀川水系の
河川整備計画に基づいて実施してい
ます。現整備計画で改修したとして
も、浸水被害の軽減はされますが、
道路冠水など影響が生じる可能性は
あると考えています。

問 どの程度の被害が軽減されるの
か。判断材料が市にあるのか。

答 総体的な計画として、見直しの
想定はしていますが、これらの想定
は、今回の降雨量に対するものとは
かけ離れているので、今後検討が必
要な課題だと認識しています。

問 大網駅ロータリーやガード下の
浸水被害は、排水ポンプの台数を増
やせば対応はできるのか。

答 東金線のガード下には、千葉県
管理の道路排水用の排水機場が設置
されており、排水ポンプを増や
して、排水できるのかというところ
には、検討が必要だと思います。

問 防災拠点の市役所の周りも浸水
冠水した。対策はあるのか。

答 道路側溝の土砂堆積やグレーチ
ング上のごみが道路冠水にも影響し

ますので、この管理につきまして、
市民の方々の協力を得ながら進めて
いきたいと考えています。

問 連日の災害報道で市のイメージ
が失墜した。イメージ回復には何が
必要なのか。

答 治水対策などの課題の検証を的
確に行い、適切な復興事業を着実に
実行して、災害に強いまちづくりを
進めていくことが、アピールになる
ものと考えております。

問 市長は浸水被害対策が最優先課
題だと言っているが、いくつかある
優先課題の一つか、それとも本当の
1番なのか、どちらなのか。

答 最優先課題というふうに認識を
しております。

問 市は大網駅南地区開発の事業化
検討のパートナー募集を一時中止に
したが、すぐにまた復活するのか、
それとも排水対策なくして駅前開発
はないのか、どちらなのか。

答 当然、排水対策なくしては、駅
前の開発もないということでありま
す。そういうことでございます。

問 季美の森で水没車両が多かつ
た。道路の水没や冠水をハザード
マップに反映すべきではないか。

答 道路等につきましても、過去の
冠水データを基に作成しています。
新たに発生した冠水箇所の追加等、
ハザードマップのデータ検証、更新
に努めてまいります。

問 そもそもハザードマップの信頼
性が怪しい。いつも被害にあう大竹
橋のラーメン屋さんの浸水深がゼロ
になっている理由は。

答 確認したところ、確かに浸水深は
白紙でした。今回の冠水を受けて、ハ
ザードマップのデータ検証、更新、対
応してまいりたいと思います。

代表質問

自由民主党の会

北田 宏彦 議員



「千葉豪雨災害」について

問 13日、14日にかけての時間当たりの最大雨量、連続総雨量と千葉市緑区における雨量について伺いたい。

答 市役所の雨量計で、1時間当たりの最大降水量は157mm、総降水量は406.5mmでした。千葉市緑区土気南小学校の降水量は、1時間当たり最大降水量が135mm、総降水量が469mmでした。

土気、あすみが丘のエリアは非常に珍しい分水嶺となっており、通常は千葉市側の村田川、鹿島川に雨水は流れ込んでいる。また千葉市緑区周辺と大網白里市との境界線は、下総台地の東端、牛久東金産線に位置しており、標高差約90mの崖地や急斜面となっている。近年、千葉市緑区の台地側では大規模な宅地開発が進み、雨水を排水していた山林や原野が減少し、大雨の際に地表を流れる雨水が急激に増加し、調整池等がオーバーフローし、崖下の平野部に一気に流れ込む事が小中川流域、大網駅周辺の氾濫の一因と考えられる。具体的な場所を挙げると、あすみが丘東の土気東2号調整池は許容量を超えて越水し、周辺の住宅で浸水被害が発生している。すぐ近くにはJRの土気側のトンネル口がある。また、旧土気城跡から南玉に続くクラン坂から流れ落ちた大量の雨水や周辺の崖線から吹き出した雨水が大網駅周辺に流入したと聞く。昭和の森周辺やゴルフ場の一部の雨水は調整池から小中池に流入している。私は、「千葉市側からの雨水の流入を抑制してもらう協議をしては如何か」と執行部に申し上げているが、残念ながら協議をしていない。早急に千葉市と雨水流入抑制についての協議、調査をして頂きたい。

問 各地区の排水ポンプは適切に作動していたか伺いたい。

答 金谷川付近2か所の排水ポンプの分電盤が漏電し停止したので、仮設の排水ポンプを設置した。わらび台団地の排水ポンプは、豪雨のため排水能力が追いつかない状況。北今泉地区の産業道路沿いの排水ポンプ1か所は、過負荷状態となり停止したので、自然流下に切り替え排水作業を継続した。千葉県が管理する大網駅のJR東金線ガード下の排水機は漏電し、排水ポンプ3基のうち1基が停止した。

配電盤の漏電など原因はあると思うが、普段からの管理が大事。市管理、千葉県管理を含め定期的に整備、対策して頂きたい。小中川雨水第二ポンプは50.8haの市街化区域を流域としているが、洪水時には市街化調整区域からの雨水も流入するので、既定のポンプの容量ではフル稼働しても排水しきれない。駒込地区の浸水被害の原因は、市街化調整区域の排水整備の遅れが要因となっている。大竹地区の排水ポンプも排水容量不足と、金谷川が氾濫し越水する状況から、排水ポンプが作動しても、一定の降水量を超えると大規模な浸水被害になる。市街化調整区域の排水整備の遅れに根本的な原因がある。

問 今後の浸水対策について、市はどのように考えているのか。

答 豪雨の雨量に対応可能とする施設整備は、南白亀川水系河川整備計画を変更し、小中川下流および南白亀川を全川にわたって現在の河川断面を大きく拡大するなどの対策が必要。市は、小中川上流部や金谷川の河川整備計画に基づく整備を着実に進め、南玉地区の幹線排水路の整備方針について検討する。

令和元年10月の大雨が総雨量約300mmで、数百年に一度の大雨、令和5年9月の台風による大雨は総雨量約400mmで、千年に一度の大雨、先月8月13日の千葉豪雨も407mmで千年に一度の大雨となっている。千年に一度の大雨が3年に一度降っている。南白亀川水系河川整備計画および本市の河川排水計画の早急な見直しと河道拡幅、堤防整備、橋梁改築、堰改築、調節池整備について予算を確保し短期間で事業を完了できるように、関係自治体と連携して国・県に強く働きかけ、早急に浸水被害対策を進めて頂きたい。豪雨災害の直後にメールが届いた。浸水被害の予見可能性、行政の不作為、過失を問うもので、厳しい意見だ。二度と浸水被害は起こさない。あらゆる対策をして整備をしていく覚悟を持って取り組んでいかなければ、市民の安心・安全は確保できない。市民の信頼を取り戻すことはできない。

○国道128号バイパス沿道、資材置き場の盛土について
○日銀政策金利上昇に伴う本市の財政への影響について

関連質問

田辺 正弘 議員



令和8年8月千葉豪雨（大網街道通行止め対応）について

令和8年8月13日の夜から14日にかけて発生した令和8年8月千葉豪雨により、現在も県道20号線、いわゆる「大網街道」が通行止めとなっています。土気へ向かうための主要な道路が通行止めとなっているため、一般道の利用者は、季美の森方面に迂回する必要があります。今度、山田台大網白里線バイパスが混雑している状況にあります。緊急車両の通行や、災害復旧のための車両の通行もあることから、市民の安心安全を確保するためにも、代替となる道路が必要ではないかと思う次第です。

私は令和3年第2回・令和5年第1回関連質問をしました。令和5年第1回では、スマートインター入口交差点から昭和の森方面へ行く県道は、3年前は崖崩れ等が3か所あり、長らく片側通行が続き、大変不便でした。また、いまだに陥没している所もあります。道幅も狭く、歩道もなく、大変危険な県道でありま

す。災害時、有事の時にはあてになりません。と質問しています。その時の答弁は、通称大網街道は、災害発生時に被災者の救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために緊急車両などの通行確保するための重要な路線であり、緊急輸送道路として、本市および千葉県の地域防災計画に位置付け、道路の改修等を関係課と連携し要望しますとの答弁でした。

問 そこで、たとえば、みずほ台から土気方面へ向かう道路を整備する計画があるのか、お伺いします。

答 県道20号線（通称大網街道）の崩落やJR外房線の大網、菅田間の運休に伴い、代替ルートである山田台大網白里線バイパスが混雑したことは、本市において課題であると認識しております。ご指摘のみずほ台からの新ルートにつきましては、財源や用地、千葉市側との接続など多くの課題があり、現時点で具体的な整備計画はございません。新たな道路整備計画を立ち上げるには、広域的・公益的な視点から、国・県・千葉市を含めた関係機関が一体となり、検討していく必要があることから、広域的な連携の枠組みの中で、中長期の視点で研究してまいります。

問 市内保育園等の水害対策は。

答 市内保育施設では、大竹保育園とあさひ保育園が床上浸水被害を受け、臨時休園となり、大竹保育園は子育て支援館・あさひ保育園は子育て支援センターにて代替保育を開始。

個人質問

地球温暖化、異常気象

宮間 文夫 議員



問 若者移住対策について伺います。

答 本市は、通勤に便利なJR外房線の駅があることから、5団地を中心に住宅地が開発され、ベッドタウンとして発展してきましたが、近隣市と比較して企業や事業者などの数が少ないことから、法人市民税や固定資産税が少なく、個人市民税の占める割合が高いという特徴があります。また、歳入面において個人市民税が大きな役割を占める本市では、高齢化の進展に伴い、定年退職者などが増加することによる税収の落ち込みの影響を強く受けることが懸念されます。そのため、生産年齢人口の確保が非常に重要であり、若い世代の移住・定住施策や、少子化対策の推進が急務であると考えております。このような中、市といたしましては、若い世代の結婚、出産、子育てといったライフステージに応じた各種支援を実施しております。具体的には、新婚世帯の住居費や引っ越し費用などを支援する結婚新生活支援事業をはじめ、不妊治療費の助成、高校生までを対象とした子ども医療費助成、産後ケア事業の利用料や産科の初回受診料の助成、さらには学生を対象とした路線バスの通学定期券の購入費助成などの取組みを行っています。さらに、昨年度から開始した東大生地域おこしプロジェクトをはじめとする若者向け地域活動への支援や、空き家バンクを活用した子育て世帯向けの移住支援など、若年層に選ばれる魅力ある大網白里市の実現に向けた施策に取り組んでいるところでございます。

問 大網駅南側の開発について

答 大網駅周辺は本市の玄関口であり、公共交通の結節点であることも

に、市民生活や地域経済を支える重要な拠点でございます。大網駅南地区のまちづくりは、都市基盤の整備とあわせて、商業業務機能や居住機能の誘導を図ることにより、駅周辺の利便性の向上やにぎわいの創出、地域経済の活性化につながることも、本市の魅力を高め、移住・定住の促進にも寄与するものと考えております。進捗状況につきましては、令和7年6月に、大網駅南地区まちづくり協議会から大網駅南地区まちづくり構想の提言を受け、その内容やサウンディング型市場調査の結果などを踏まえ、令和8年7月に大網駅南地区まちづくり方針を策定いたしました。その後、同方針に基づき、官民連携による事業化に向けた具体的な検討を進めるため、民間事業者のノウハウや技術的知見を活用する大網駅南地区事業化検討パートナーの募集に向けた準備を進めてまいりました。しかしながら、令和8年8月千葉豪雨により、大網駅周辺が広範囲にわたって浸水被害を受けたことを踏まえ、排水対策を最優先に取り組み必要があると判断し、募集につきましては見合わせたところでございます。今後、大網駅南地区のまちづくりにつきましては、大網駅周辺の排水対策の進捗状況を踏まえながら、まちづくり協議会と連携してまいります。

問 主権者教育について

答 教育委員会管理課から主権者教育についてお答えします。教育委員会におきましては、児童・生徒が社会の一員としての自覚を持ち、主体的、自律的に社会に参画する力を養うため、各発達段階に応じた主権者教育の推進を図っております。

個人質問

政 真 会

D X 推 進、防 災、子 供 の 休 暇 制 度、
人 材 の 交 流、み ど り が 丘 市 有 地

森 建 二 議 員



○ D X の 推 進 に つ い て

問 デジタル・トランスフォーメーション。技術の活用により、市民の皆様は時間をお返しし、職員事務の効率化にもつなげる。ここ数年の、証明書類のコンビニ発行やキャッシュレス決済導入を評価します。マイナンバーカードの保有率は。

答 本年1月、82.8%です。

問 次に公共施設の予約システム導入。スマホ等で予約できれば、わざわざ並ぶ必要もなくなります。以前からの要望ですが、その後いかがか。

答 社会体育施設などにつき、千葉施設予約システムに参加する形で、令和9年4月からの運用開始に向けた準備作業に取り組んでおります。

問 市内拠点でのWi-Fi整備。これも改めて、市民サービス、防災のために必要と考えますがいかがか。

答 整備には、技術的な課題の解決や費用対効果の検討が不可欠です。今後、主要な防災拠点における課題等を整理し、関係部署と連携協議の上、総合的に検討を進めてまいります。

○ 人 材 交 流 に つ い て

問 地方自治体への就職希望者が減っています。民間の活況、働き方の多様化に伴い優秀な人材が来なくなっている。民間の人材に行政の世界に入って頂く事は重要。市では民間企業との人材交流の実績があるのか、今後どう考えるか。

答 これまで、本市において民間企業との人材交流の実績はございません。実施に当たっては、市業務内での活用方法、ニーズ把握の他、労務管理等の課題、派遣期間の調整といった課題が挙げられます。限られた職員数で行政運営を行っている本市の現状では、早期

に対応を図ることは難しいものと考えます。

行政も経営感覚が必要。検討を。

○ 防 災 に つ い て

問 災害時の情報共有・集約。今どこで何が起きているか知れることは重要。災害時の市の職員間の情報のやり取りをどう行っているか。

答 基本は、安全対策課から個々の職員宛てに発するメール通知であり、災害発生に伴う職員の非常参集、避難所の開設をはじめ各種指示事項は、全てこの通知で行っております。職員間の連絡は、各課に配置しております災害対応電話や避難所の開設に携わる職員間において、LINEを用いたグループ間の連絡により対応を図った旨、報告を受けております。

メールと各課の電話とLINEという事、おぼつかないと感じます。ちなみに災害ボランティアセンターを運営中の大網白里市社会福祉協議会では、情報の発信・集約を瞬時に完結できる「キントーン」の導入を図っているとの事。市も情報共有の手法を再考、研究願います。また災害時自主防災組織との連携が上手くいっていない。せっかくの組織、災害時に合理的に動けるよう検討を。

○ 移 住・定 住 政 策 に つ い て

問 みどりが丘の市有地について。市の重要な財産であるこの場所について、現在どのような動きがあつて、どう考えているのか市長に伺います。

市長 みどりが丘地区の市有地につきましては、市街化区域の準工業地域に位置づけており、企業誘致が可能な土地である事から、本市の持続的な発展ならびに市民全体の重要な財産であると認識しております。市では、これまで

千葉県のHPを通じた情報発信や、サウンディング型市場調査などにより、積極的に利活用の推進に努めてまいりました。その結果、市有地の一部について、本年7月に食品加工施設を運営したいという企業と賃貸借契約を締結し、8月には、事業者によるみどりが丘自治会への説明会が実施された所です。市といたしましては、新規雇用の創出や税収の増加が見込めるなど、地域の活性化や市全体に効果的な利活用につなげたいと考えております。

この春、みどりが丘自治会で住民アンケートを行いました。市有地に望ましいものとして、商業施設、公共施設、この複合施設と、3つで約6割を占めます。買物や福祉に関する不安が強い。一方で、工場や物流施設、住宅などへの支持は極めて低い。そして自由記入欄には「交流」という言葉が見えます。住民は交流する場所や機会を求めています。現在、豪雨災害の影響が住民が転出する話を聞きます。市民や企業など民間の意見も参考に、多様な観点からの検討をお願いいたします。

○ 教 育・子 育 て に つ い て

問 季美の森小学校統廃合が決まってきた。進捗と、これからの計画は。

答 令和7年度に季美の森小学校区および大網小学校区の保護者説明会を8回開催し、令和8年度は(仮称)統合準備委員会を設置し、統合に向けた協議を進めていく予定です。

関 連 質 問

猪崎 紀 人 議 員

問 統廃合による問題点と、対策は。

答 児童の通学手段に関し、スクールバスの運行を基本とし、運行形態や費用負担について、関係者と協議を行う予定です。このほか、児童の不安を払拭するた

め、季美の森小学校の教職員を大網小学校に配置できるよう要望し、両校の行事を共同で開催するなど、児童の心理的不安の解消に努めます。

○ 防 災 に つ い て

問 今回の豪雨災害は、令和になり3度目の大きな水害です。決して予測できなかった災害ではありません。現在4期16年、長きにわたり市政のトップを続けてこられた市長は、今後どのような政治判断を行い、水害対策を進めようと考えていますか。

市長 大網駅周辺の排水対策については、千葉県が進めている小中川改修事業と市が進める金谷川改修事業に加え、新たに南玉地区幹線排水路の整備が必要と千葉県から示されました。当該排水路の改修など、整備手法の検討を進めているところで

す。市内各所における浸水対策は、本市の最重要課題であり、新たな課を設置し、治水対策を重点的に取り組みたいと考えています。

問 市長は4期16年行ってきた水害対策が十分だったと考えていますか。

市長 県と連携し、市内の排水対策には、様々な障害が発生し、時間が

かかったことも事実です。今回未整備の部分で、また災害が発生したことを重く受け止めています。

問 県と連携したとのことですが、

国との連携は。

市長 国とは金谷川改修事業に、補助事業としてご支援いただいています

が、今後もしっかりと連携していきたいと考えています。

問 今回、16年間の水害対策は十分

だったと考えていないと受け取り

ました。経常収支比率が100%とな

り、これからの災害対策は県や国に

助けてもらわなければ進みません。

今まで以上に、県や国に強く働き

かけ、必要な事業や財源を、一刻も

早く引張ってきてください。

その他、移住者のシビックプライド

醸成施策などについて伺いました。

個人質問

現 市 政 は 災 害・財 政・人 口 減 少 等、
も う 行 き 詰 っ て い る の で は な い か。

石 渡 登 志 男 議 員



「市政最大なる責務は、市民の命と財産を守ること」だからこそ、ずっと以前より、市民の皆様方には私の通信や演説にて、また議会の場においてもその旨お伝えしてきた。現状のままに行けば、本市は地震やそれに伴う火災や津波等において多くの犠牲者を生んでしまう恐れがある。それを何故でもくい止めていきたい。以前の千葉豪雨では県内では多くの犠牲者が、本市では亡くなられた方はいなかったが、市民の大事な住宅や車という貴重な財産を守る事が出来ていない。しかも、令和に入ってから8年間で4回、という事は2年に一度大きな災害に本市は見舞われている。これでは被害に遭われた方々はたまったものじゃない。ある被災者の方が言われていたが「心が折れます」と、何度も浸水に遭ったらそんな気持ちになる。テレビ等では連日大網白里市の浸水状況を流し続けていた。本市は「災害のまち」としてすっかり定着してしまっただけかもしれない。そんな自治体に誰が移住してくるのか？市民にとって「悔しさ」と悲しみではなく、「夢と希望」あふれるそんなまちに私たちはしていかなければいけない。今の状態が「住みたい・住み続けたいまち」なのか。命はもちろんの事、市民の大事な住宅や車などの財産を守っていききたい。それが市政最大なる責務だ。人口減少や財政問題、そして大規模な自然災害、まさに「本市存亡の危機」ではないのか。市民の市政に対するこのやり切れない閉塞感にその怒りは頂点に達しているのではないか。ここである閉塞感とは先が見えないという事だ。先が見えないほど人は不安なことではない。

問 車両水没を防ぐため、その緊急避難場所は何か所あるのか。車両避難場所を拡大する考えはあるのか。

答 市指定の16か所の指定避難場所には運動広場、農村環境改善センター、北吉田・みどりが丘市有地、大網高校に車両駐車が可能で

す。なお、車両避難の場所増設に

関しては、市内のみでなく市外を

含めた中で民間との協定等を進め

ていきます。

あるお二人の先生が本市の氾濫について言われていたが、まさにそれがその要因ではないか。特に駅周辺は、谷津地形であり、盛土もしている。最初に浸水をもたらしたのは内水氾濫であり、街中にあふれるほどの大雨が降り

続き、やがて用水路も氾濫していき、

その街中であふれた水が河川にどん

どん流れ込んでいることが映像でわかっ

ている。河川の水量が少ない時は水が

流れていくのだが、水かさが増してい

き、やがて水の流れがなくなり、その

高さが限界を超えたとき、今度は街中

に向かって一気に流れ出ていく。そ

う、今度は外水氾濫となる。ただ単

に、河川工事をして河川幅を広げ、コ

ンクリートのかさ上げ工事をするのも、

防ぐことはかなり困難。内水氾濫を

する限り防ぎ、また、川の水が流れる

ようにしていかないとけない。それ

こそ、県・市だけではなく、国レベル

の強力な力を借り、多額な資金の投資

を行い、その内・外水の氾濫を防ぐ有

効なる対策を講じて行かない限りいつ

まで経っても解決できない。私が副議

長の時、議長と一緒に他県のある地域

の地下水路を見てきた。洪水を度々起

こしていたが、国の力を借り解決させ

てきたのだ。

個人質問

市長の政治姿勢、財政について

岡田 憲二 議員



問 令和8年第3回定例会初日に、金坂市長は事務報告を行い、市の財政状況について、「財政の弾力性を示す経常収支比率につきましては、前年度から0.1ポイント上回る100%となりました」と発言、市長には市の財政状況についてどのように認識しておりますか。

市長 令和7年度決算では経常収支比率が100%となり、財政指標の上では依然として厳しい状況にあるものと認識しております。

問 住みたい、住み続けたいまちを作ると言っておりますが、経常収支比率100%の市に人口が増えるわけがないじゃないですか。令和5年第3回定例会で市長が「経常収支比率は99.5%になりました」と発言したことにこそ最優先ではないか」と発言をした。4年たった現在、またもや同じことを言わなければならないとは何とも情けない限りであり、今までの行政の不作為の極みであると私は思う。次に、8月8日に開催した「産業道路沿道における用途地域の変更に係る住民説明会」について質問する。説明会参加者より、市が設定した企業誘致戦略エリアの一部に産業廃棄物等の類が投棄されているというような発言があったように記憶しているが、このことに対する市長の見解は。

市長 当該地域は民有地でありますので、市としては把握しておりません。問 お答えに民有地だから云々とありましたが、実際そういう疑いがあるところを公共事業として使うと市が設定しているのだから、きちんと調査するなりして住民の不信を払拭

してから進めましょうというふうにするのが正しい行政の進め方でないかと私は思う。いざ建設の段階でボーリング調査等をやって、そういう類のものが出てきたらどうするか。事前に地権者をお願いして調査し、何もなければいいじゃないですか。市として調査したんだから大丈夫ですと言って売買契約するなり進めればいい。私はそう思うがどうですか。

市長 そのとおりだと思います。

問 さらにその参加者から「最初の道の駅の時に、予算をつけて調査するという話を聞いていたが地質調査を行わなかったのか」との質問があったが、担当者も市長も答えなかった。質問者も大事なことから調査をしたのかどうか調べるようにということと説明会は終わっている。このことに関して私は議論をしている。令和5年第3回定例会8月25日の全員協議会で市長が道の駅の説明をされた時の確認ですと、「地質調査については平成25年に調査費を予算計上したが、当初の計画通りに道の駅の整備を進めていくことが難しくなったことから実施していない」との答弁があった。8億円もの予算を組んで検討委員会も立ち上げて予定地が決まって、果たして予定地が適切な土地であるかを調べてから事業を組み立てていくというのが筋だと思うが、それはやっていない、と指摘しておきます。次に、市が作成した北今泉の企業誘致エリアの真ん中に道の駅の予定地がずぼつと入っているのを見てびっくりした次第であります。あれだけ批判があり市民が懸念を抱いているという土地であります。

令和8年市議会第3回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等		
議案等番号	件 名	結果
認定第6号	令和7年度大網白里市病院事業会計決算の認定について	認
認定第7号	令和7年度大網白里市下水道事業会計決算の認定について	認
議案第1号	令和8年度大網白里市一般会計補正予算（第2号）	可
議案第2号	令和8年度大網白里市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可
議案第3号	大網白里市ガス事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可
議案第5号	大網白里市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第6号	財産の取得について	可
議案第7号	大網白里市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同
議案第8号	令和8年度大網白里市一般会計補正予算（第3号）	可
議案第9号	令和8年度大網白里市下水道事業会計補正予算（第1号）	可
議案第10号	大網白里市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可
発議案第1号	大網白里市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可
陳情第6号	市長を対象にした政治倫理条例を制定してもらうための陳情	採

賛否が分かれた議案等

議案等番号		件 名	結 果	齊藤 完育	金森 浩二	高野 祐二	輪島美津江	猪崎 紀人	土屋 忠和	引間真理子	上代 和利	森 建二	小倉 利昭	小金井 勉	佐久間久良	北田 宏彦	石渡登志男	田辺 正弘	宮間 文夫	黒須 俊隆	岡田 憲二	賛 成
認定第1号	令和7年度大網白里市一般会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	14
認定第2号	令和7年度大網白里市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16
認定第3号	令和7年度大網白里市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16
認定第4号	令和7年度大網白里市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16
認定第5号	令和7年度大網白里市ガス事業会計決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16
議案第4号	大網白里市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16
陳情第7号	「九十九里沖CCS事業の中止撤回を国に求める意見書」採択に関する陳情		不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	3

議会日誌

令和8年8月

24日 議会運営委員会・全員協議会
31日 市議会第3回定例会 開会

9月

3日 一般質問 3会派8人
4日 一般質問 1会派2人、個人3人

7日 個人2人
議会運営委員会
全員協議会

10日 議案質疑・委員会付託
政治倫理検討会議
総務常任委員会

11日 文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会

14日、16日 決算特別委員会
25日 議会運営委員会
全員協議会

市議会第3回定例会 閉会
10月

5日 議会だより編集委員会
22日、23日 三常任委員会合同行政視察
研修（兵庫県明石市、加古川市）

請願・陳情の受付

請願 陳情は、議会事務局において随時受付しています。

議会に提出された請願・陳情は、その内容を所管する常任委員会等での審査を経て、本会議で採択の可否を決定します。

なお、本会議での採決の結果は、提出者にお知らせします。

また、採択となった請願や陳情については、市長など関係機関に送付しています。

※令和8年第4回定例会で審査される請願・陳情は、11月5日（木）午後5時まで受け付けます。

編集後記

この度の千葉豪雨・台風により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

未だ、「ご不安な生活、復旧作業が続いていること」を思います。

1日も早く平穏な日常に戻られますよう、心よりお祈り申し上げます。

地球温暖化の影響により、気温上昇、線状降水帯と今までにない被害です。

改めて災害に対する意識と対策の強化が必要です。ご自身の命を守るためにも、防災無線の情報や、お知り合いへの声かけなど、早め早めの避難をお願い致します。

長引く物価高騰の影響で、家計への負担も日々増しております。お困りごとがありましたら、ご相談ください。

引間 真理子

市議会は、1年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。

議会だよりでは各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上すべてを掲載することができません。本会議の内容をご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室（保健文化センター）2階中部「コミュニケーション」白里公民館で会議録をご確認ください。

議会だより編集委員会

委員長 岡田 憲二
副委員長 猪崎 紀人
委員 齊藤 完育
委員 引間真理子
委員 田辺 正弘
議会事務局 TEL(70)0390